

3学年通信

尾道市立高西中学校
3学年通信第29号
令和2年7月20日

ささいなことこそこだわろう！

17日（水）に広島県立尾道北高等学校、広島県立尾道東高等学校、広島県立尾道商業高等学校の3校に来ていただき、高校説明会（希望者のみ）を行いました。

自分の興味のある学校についての情報を得るだけでなく、複数校を聞くことで、「高校生活」についてよりイメージを深め、頑張ろうという意欲につなぐことができる機会となりましたね。

高校説明会では、多くの方が一生懸命メモをとりながら、この大切な場を自分のために最大限に有効活用するために集中していましたね。しっかりとメモをとりながら話を聞く姿を評価していただきました。なぜメモをとる姿が評価されたか—それは、メモをとる力は、これからの社会で生きていくために必要な力のひとつだからです。短期記憶は忘れてしまうので後から何度でも見返して自分のものにするという点でも、必要な情報をきりとる力をつけるという点でも必要不可欠です。だからこそ、今から意識をしてつけていかなければならない力であり、その力を活用している姿を評価していただいたのです。このように学びの機会は学校の全ての活動においてあるのです。

さて、みなさん、高校説明会での姿を振り返って見ましょう。積極的にメモを取りながら聞くことができましたか？「進路」に関する情報を得られる場において、緊張感を持った座り方はできていましたか？椅子を引く音を立てないように静かに引くことができましたか？机の中に椅子を入れ、その椅子の前に背筋を伸ばして両膝をくっつけて立つことができましたか？

心は言葉ではなく、行動に表れます。今回の「高校説明会」を進路の情報を得るための、これからの自分自身につながっていく大事な時間だと思っていた人なら、中学校3年生のために来てくださった高校の先生方への感謝の思いがあったなら、相手に「思い」に向けた緊張感のある態度で過ごすことができたことでしょうか。しかし、その意識がなければ、態度にもその心が表れてしまったことと思います。

みなさんは、何かを注意された時、入試やこれからの社会につなげて話をすると、「入

試の時にはちゃんとする」、「いざとなったらできる」などと言いますが、現実はそのように甘いものではありません。「一事が万事」なのです。

日頃の生活が心につながり、心が行動となります。言葉では「ちゃんとやる」と言っている、行動に表すことは日々の意識の積み重ねが大切なのです。立ち方、座り方など、今回振り返ってほしいと思ったことは、「ささいなこと」です。しかし、ささいなことにどれだけこだわられるかが信頼につながり、ささいなことにこだわるから、大きなことも為すことができます。ちいさなこと、簡単なことであっても、無意識に「当たり前」にできるようになるために、気を再度引き締め、ともに声を掛け合って成長していきましょう。

〈高校説明会の様子〉



努力は今後に生かされる！

今週の高西中ラジオ。本日のパーソナリティーは生徒会副会長の島谷くんでした。試験週間中ということで、勉強への思いを語りましたね。彼は、過去の自分自身を振り返り、「努力」の大切さを語りました。この言葉と、ともに頑張る仲間がいることを励みに、期末に向けて全力全開です！

今、努力したことは絶対これからの将来に生かされます。「努力は一瞬の苦しみ、後悔は一生の苦しみ」です。僕は、1, 2年の時、あまり勉強をせずに遊んでばかりでした。だから、今となって、バタバタ勉強をしており、後悔をしています。遊ぶのはよいことですが、勉強もして、くれぐれも僕みたいにならぬよう、頑張ってください。

